

SSKU

2024年度

お元気ですか？
イリアンソスです。

冬号



Page2 理事長の散歩道

Page3 活動報告

Page7 法人全体研修

「表現のかたち」 社会福祉法人イリアンソス

理事長 磯部光孝

新しい年が始まりました。昨年
は正月に起きた能登半島地震
で驚きました。まだまだ復興に
は程遠い状況で、継続的な支援
が必要です。ぜひ、ご協力お願
いします。

さて、今年も二月十二日(水)
〜十四日(金)で「びゅああく」と
展」が開かれます。コロナ感染
で三年間開催できませんでした
が、今回で十七回目を迎えます。
つまり、この展示会も二十年前
にはじまったことになりました。
そして、この企画は近隣の五市
(小平市、東村山市、清瀬市、東
久留米市、西東京市)による「多
摩六都フェア」の一環として東
久留米市で行なっているもので
す。「びゅああく」と展」の作品は、
その五市に在住、在勤、在学し
ている障害のある方(以下、作
家)たちに作品を募集させても
らっています。

先日、十一月二十九日(金)に
「さいわい福祉センター」でみ
なさんに出展していただいた作
品の選考会が行われました。今
回は二八七作品が寄せられまし
た。絵画・陶芸立体・書道など大
きさもまちまちで面白い表現の
作品、手の込んだ作品、小さい
立体がいくつもある作品などが
「さいわい福祉センター」の多
目的ホールのフロアにところ狭
く並べました。

二八七作品を市ごとに並べ、
選考はそれぞれの分野の専門の
先生に選んでもらい九六点の作
品が選ばれました。

作品を選んだあと、選考委員
の皆さんから講評をいただきま
した。ちなみに選考委員のみな
さんは第一回目から携わってい
ただいています。講評の中で、
第一回目から作品を見ていると
作品を出してくれる作家の皆さ

んの表現の幅がどんどん豊かに
広がってきているとおっしゃっ
てくれました。それは、サポー
トしている支援者側も作家の皆
さんへの働きかけがよくなっ
てきているともいっていました。

さらに、選考委員の先生はさま
ざまな展示会をご覧になられて
います。「びゅああく」と展」の作
品は、作家の気持ちが出ダイレク
トに伝わってきて見ていて安心
するとおっしゃってくださいました。
また、陶芸では少しづつ焼き物
の出品が減っていること。原因
は手間がかかるし、事前の準備
やその後の乾燥、創製、色合い、
釉薬を使ったりしなければなら
ないからだろうと推察されてい
ました。それでも陶芸作品を作
っている人の気持ちや想像でき
る作品が多いと話していただき
ました。さらに書道では大きな
作品が多くてとてもいいといっ

ていただきました。ただ、画用
紙を使っている作品もあり、毛
筆特有のじみが出ないのが残
念といっていました。書道用紙
でも厚い半紙があるので、作家
さんが力をこめて書いても耐え
られるので挑戦してほしいとア
ドバイスもありました。

選ばれた作品は、作家さん一
人ひとりの気持ちが出ています。
その気持ちを活かした展示を毎
回挑戦しています。限られた予
算の中、二月十一(水)の日は、
朝から東久留米市の一階の市民
プラザで展示の準備を実行委員
員のみなどと取り組みます。い
ろいろ工夫して作家さんが作品
に込めた気持ちを前面に出せる
展示をめざして「びゅああく」と
展」の準備をさせていただきま
すので、ぜひお越しください。

このみ活動風景 10月・12月
ハロウィンパレードとにぎやかカーニバルへの参加



↑衣装作成中です!



パレード中! 列から離れないでね~



にぎやかカーニバルの練習中!

音楽に合わせて右・左 ♪ ↓



十月末に東久留米市の地域交流会の一つとしてハロウィンパレードに参加しました。市役所〜東久留米駅周辺を市内の放課後等デイサービスの参加団体が列を作り、パレード行進を楽しみました。黒猫・ネコバス・ピエロ・仮面ライダーなど各々がなりたいたいの風が強く途中で被っていた帽子が飛ばされてしまうアクシデントがありドキッとしました。が元氣いっぱい笑顔で最後までパレードを歩けることができました。沿道には保護者の方々が見に来てくださっており子ども達は嬉しそうに手を振っていました。



十二月十四日、にぎやかカーニバルに参加しました。今回は招待団体の方々への花束贈呈をする役があり、小学一年生二人が、このみの代表として花束贈呈にチャレンジしてくれました。たくさん知らない人が見ている中とても緊張していましたが、上手に渡すことができました。

そして、このみは「やってみよう」という曲に合わせてダンスを発表しました。緊張するね〜といいながらスタートしましたが、元氣いっぱい体を動かし上手に踊りました。このみを卒業した人達も参加してくれたので、いつも以上に人数も多くにぎやかな発表となりました。現役生やスタッフとのやり取りをしている姿を見ると、とても懐かしく心が暖かくなりました。久しぶりに皆の元氣な姿をみられるこの場と時間が貴重であり、このみで働いていて良かったなあと思う瞬間の一つです。また来年もぜひ参加してくださいね。このみ一同お待ちしております。

子ども達が、まつぼっくりに飾りつけクリスマスツリーを作りました ↓



なかまの家

「ラビュウの会」参加しました!

○「ラビュウの会」に参加しました!

他法人の事業所の利用者たちと交えてゲームに参加して交流を深めるイベント「ラビュウの会」になかまの家も参加しました。

★ラビュウの会とは★

『ラビュウの会』は、きょうされん東京北部ブロックの利用者自治会の名称です。自治会メンバーがそれぞれの自分の所属する事業所に持ち帰って考えたりしながら決定をしました。

ラビュウの会の目的は、まずは『利用者交流』です。そして、『交流』の中で『学習』や『運動』を通して、地域の障害のある人たちのことやその人たちの想いを伝えていくことです。

※きょうされんとは・・・

正式名は共同作業所全国連絡会。成人期の障害者たちが地域での働く・活動・生活を応援する事業所の全国組織。

※東京北部ブロックとは・・・

豊島区、練馬区、北区、板橋区、清瀬市、西東京市、東久留米市、から構成される都内ブロック。



○ポッチャ大会

九月一八日、一回目・二回目のラビュウの会は、話し合いが中心でしたが、話し合いがなかなか苦手な方でも参加できるように、自治会メンバーで考え、ポッチャ大会が開催されました。イリアンソスからは、のぞみの家となかまの家の利用者さんが参加し、合計で四事業所のチームによる大激戦のトーナメント戦が繰り広げられました。

みんなの前に出ると緊張しちゃう人も、初めて会った利用者さんに「がんばれ〜!」と応援されてまんざらでもない表情で投げたり、何度か交流をしている利用者さんは「元気だった〜?」な感じで和やかムードです。

しかし、自分の番になって狙いを定めると仕事中でも見たことのないような真剣な表情です。

結果は……。のぞみの家の優勝!で、なかまの家の結果は

.....内緒です。

利用者自治会というと、

『どんなことするんだろう?』

とか、『なんだか難しそうだな話し合いとかできるのかな?』

なんてイメージがありました。ポッチャなどみんなが楽しんでいる姿から届けられるものもあるのかなと感じました。

次回は、忘年会のカラオケ大会が開催される予定です。楽しみです。



活動センターかなえ

社会福祉法人イリアンソス 2024年度 祝う会

一〇月一七日、成美会館を会場に祝う会を開きました。当日は、市議会議員の方、都議会議員の方をはじめ、来賓の方々が祝いにかけつけてくれました。

今年度は、かなえに入所された村田武尊さんのお祝いがメインでした。入所後、まもなく一年が経つ村田さんですが、少しずつ主張を出せるようになり、行動や言葉に思いを込める姿も見せてくれています。初めてのことに対するご本人なりの心構えがあるだろうと、祝う会の主役となる当日は、みんなの前に出ることが出来るか、会場にも入れるだろうか、周囲は気にかけていました。村田さんが気持ちよく参加できる方法での会場入りや、応援グッズに大好きなアイドルの画像をつけたうちわを用意し、本番では、村田さんは多くの参加者の前に座り、問いかけの自己紹介にも好きな食べ物「とんかつ!」と答え、祝辞へのお礼の言葉も言えました。同席していた、かなえ一同、新たな一面を知り今後の活躍に期待したくなる日となりました。



かなえ一同、新たな一面を知り今後の活躍に期待したくなる日となりました。

Cafeてん

コーヒーマシンを新調しました

二〇二四年度の赤い羽根共同募金の配分金を利用して、Cafeてんのコーヒーマシンを買い替えました。一杯淹れるごとに、コーヒー豆を挽き、ドリップしていく全自動マシンです。タッチパネルでお好みの淹れ方ができ、利用者の方々も操作がしやすいということも利点のひとつです。

Cafeてんのコーヒーは、お客様好みになるように、地域の焙煎士の方にブレンドしていただいています。今回のマシン搬入の際にも来てもらい、変わらぬ味で提供できるようにセッティングしてもらいました。いきいきとはたらく利用者の方々の姿をブレンドして、これからも、お食事を提供していきます。ぜひCafeてんへのご来店、お待ちしております。



のぞみの家 活動報告

のぞみの家のおひさま班で

は、週のはじめに『自治会』を開き、一週間の予定を決めています。

「今週は○○さんの誕生日

8083日がありますね、どんな誕生日会にしたいですか？」

「先週は絵画活動ができなかったので今週は4日頑張りましょう！」

増刊通巻

「天気が良いので屋上に富士山を見に行きませんか？」という具合で話し合いながら決めていきます。

SSKU 昨年末には作品展も開催され、おひさま班のメイン活動となつて、絵画の時間は普段よりさらに多く作りました。毎回みんなでテーマを決めて描いていきます。最近のテーマは秋にみんなで行った『旅行』でした。3人乗り自転車で走っ



たイチヨウ並木の黄色や、芝生滑りをした時の芝の色、雨上がりの空、美味しかったローストビーフの色など、楽しかった旅行を思い出しながら描いていきます。画紙は布や和紙、キャンバスなど様々で、ゆび絵の具を

使用しながら色をつけます。



大好きな「しゃぼん玉」の歌を歌いながらリズムに合わせてトントンと絵の具のついたスポンジをたたいて描く姿や、手のひら一杯に絵の具をつけて身体を前後左右に動かしながらダイナミックに描く姿。何日もかけて描き、日毎に思い出の色を重ねていく姿がとても素敵なおひさま班の皆さんです。

法人全体研修会

障害のある人の

青年期・成人期・高齢期 を考える



▲貴重なお話をたくさん聞けました。学びの深い時間となりました。

午後の分散会(テーマに分かれてグループワーク)



午後の分散会では菅野先生のお話を参考にしながら、障害特性について話し合い、学びを深めていきました。

イリアンソスでは、毎年法人職員を対象に研修をおこなっています。

している利用者を重ね、色々とイメージをしている様子が見られました。

今年度は各ステージにおける発達特性やその課題の解明に深いご見識をお持ちの菅野先生をお招きして勉強しました。大きなスクリーンに写される図や写真と大きな声でユーモアたっぷりに話される姿に、職員は自身が支援

午後分散会は、障害特性についてテーマ別に話し合いました。午前に勉強した内容を参考に活発な意見交換がされました。終わりにグループ毎に発表しました。

一日研修でしたが、深い学びとなる研修会でした。

ご寄付をいただきました(2024年11月~2024年12月まで)
法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございました。
いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

藤田 祐子 様 バックレイ ロジャー 様 横山 治子 様
崎原 照代 様 イリアンソス後援会 様

ありがとうございます。

社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里2-7-18
042-473-9027
042-473-9036 (F)
nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市南沢2-20-51
042-452-6405
042-452-6415 (F)
kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町2-1-47
042-472-7130
042-444-3722 (F)
nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里4-2-7
042-476-3400
042-420-5126 (F)
sora@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町3-8-23
042-473-9667
042-420-9662 (F)
konomi@iriansos.or.jp

職員のつぶやき

冬が好きです。冴えわたる空気、あたたかい温泉、美味しい鍋、きれいなイルミネーション、そしてマロニエ富士見通りから見える大きな富士山にはいつも元気をもらっています。

のぞみの家 木村百合

《発行》

特定非営利法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-1
ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室
Tel 03-6277-9611/Fax 03-6277-9555

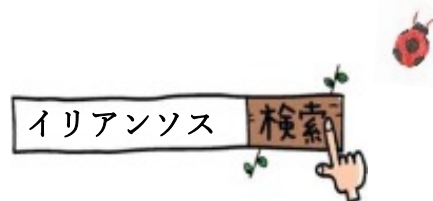
《企画、編集》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18
Tel 042-473-9027/Fax 042-473-9036

《編集委員》

磯部光孝・多田由美・斉藤加奈子・津田雪枝・鈴木麻由佳
木村百合・江頭朱夏・小林玄斎・吉田遊佑



定価100円

表紙の写真

法人祝う会で、先輩利用者がお祝いのことばをプレゼント。そして参加者の集合写真もひさしぶりに撮りました。